

講義科目名: 平和を学ぶ

英文科目名: Study of Peace

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2	選択
担当教員			
木永、芝野			
3年次	全学部	週2時間	

講義概要	平和を論じる際、戦争との対比で捉える考え方が久しく一般的だったが、近年では、戦争に限らない暴力との関係で平和を考えるようになってきている。総論として「戦争と平和」と「構造的暴力と平和」という両視点の射程、そしてその関連を把握したうえで、各論として戦争の諸問題と平和実現への課題と方法を考える。
授業計画	1. ガイダンス～授業概要・講義のすすめかた・文献の紹介など 総論 2. 平和論の現在～消極的平和と積極的平和 3. 戦争と平和～「戦争」をどう考えるか 4. 「戦争」と「構造的暴力」をつなぐ視点～ビデオによる視覚的把握 5. 構造的暴力と平和～「平和の不在」の発見 6. 貧困のうえの豊かさ・豊かさのなかの貧困 各論 7. 日本のアジア侵略(1) 8. 日本のアジア侵略(2) 9. 原子爆弾の理論と開発の歴史 10. 被爆の実相～直接的破壊・残留放射線の影響 11. 戦争責任・戦後責任(1)日本 12. 戦争責任・戦後責任(2)ドイツ・アメリカ 13. 現代の戦争～冷戦終結後どう様変わりしたか～ビデオによる視覚的把握 14. 核問題の現在～平和のための戦略 まとめ 15. まとめ
授業形態	複数講師による講義。
達成目標	平和学の展開をあとづけ、問題意識の深化を認識し、日々の非平和的状况に対する感受性を磨き、平和創造への何らかの寄与を考える契機となることを願う。 JABEE 学習・教育目標(1. 5)
評価方法	ビデオによる視覚的把握のレポート(2回)と期末試験。期末試験の受験資格は原則として15分の12以上の出席者のみ。
評価基準	ビデオによる視覚的把握のレポート(20点×2=40点)と期末試験(60点)の計100点満点とし、60点以上を合格のための必要条件とする。
教科書・参考書	教科書は定めない。関連資料はできるだけ事前に配布する。その場合は次回までに一読しておくこと。参考文献、インターネットサイト、映像資料については講義のなかでそのつど紹介する。
履修条件	特になし
履修上の注意	特になし
予習・復習	復習として、講義で書き留めたノート等をもとに、講義内容や自分で考えた事を整理し、関連文献を読むなどして、理解の深化に努めること。授業内容と関連する図書、参考になる図書やWebサイトを随時 manaba の Web サイトで紹介するので、積極的に利用すること。
オフィスアワー	原則として月曜の午後12時30分から3時限目終了時くらいまで。 他の曜日については特にもうけないので、会議等が不定期に入る場合もあるので、事前に確認して訪問することがのぞましい。
備考・メッセージ	講義の場で提示される新たな視点に対し、積極的に関心をもって、自ら問題を掘り下げて考えてもらいたい。 * JABEE 学習・教育目標(1.5)